



第163回定期演奏会

ロマンティックな抒情とポピュラーな旋律

2018
7/7 (土) 13:45開場
14:30開演
4/19発売

指揮/レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)
ピアノ/岡田将

加藤昌則：委嘱作品
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番ハ短調 Op.18
ドヴォルザーク：交響曲第8番ト長調 Op.88

第164回定期演奏会

劇的緊迫感の高揚

2018
8/10 (金) 18:00開場
18:45開演
5/31発売

指揮/ディエゴ・マルティン・エチェバリア
※当初指揮者で出演を予定しておりましたジェンマ・ニューより変更となりました

モーツァルト：歌劇「イドメネオ」へのバレエ音楽 K.367
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「プルチネルラ」組曲
ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より“ダッタン人の踊り”
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」組曲(1919年版)



7月4日(水) 第163回定期演奏会プライベート
会場/名古屋文理大学文化フォーラム
入場無料
先着200名

- 10:30~11:20「公開講座」小ホール
- 12:00~13:00「公開リハーサル」大ホール

公開講座…@FM「おはクラ・サタデー」でおなじみの山本雅士が定期演奏会で取り上げる楽曲や作曲者まつわるエピソードを紹介します。
公開リハーサル…オーケストラが曲を作り上げていくリハーサルの一部を公開します。イヤホン付きFMラジオで館内FM放送によるリハーサル内容の
実況解説をお聴きいただけます。(解説をお聴きになりたい場合はイヤホン付きFMラジオをご持参下さい)

お問い合わせ/名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111 (稲沢市正明寺3丁目114)

8月8日(水) 第164回定期演奏会プライベート
会場/名古屋文理大学文化フォーラム
入場無料
先着200名

- 10:30~11:20「公開講座」中ホール
- 12:00~13:00「公開リハーサル」大ホール

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15 (地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

入場料 A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円 学生席1,000円他
※未就学児の入場不可 (座席指定の場合は各席半額)

プレイガイド

- 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999
[7/7(Pコード102-999)] [8/10(Pコード103-001)]
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
- しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117

お問い合わせ・チケット取扱い セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851

主催/一般社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社
後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・@FM
協賛/三井住友海上しらかわホール(8/10公演のみ)
名古屋ボストン美術館・名古屋市美術館

助成/文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

クラシック音楽聴くなら
セントラル愛知交響楽団 検索
http://www.caso.jp
チケットはホームページからお申込み頂けます。



指揮 レオシュ・スワロフスキー (当団音楽監督)

Leoš Svárovský

チェコ生まれ。プラハ芸術アカデミーでノイマンに学び、プラハ国民歌劇場においてはコシュラーの下で副指揮者を務めた。その後、プラハ室内歌劇場、ヤナー・チェク・フィル、ブルノ・フィル、プラハ国民劇場バレエ管などの首席指揮者を歴任。また、2003～2005年にはプラハ国立歌劇場芸術監督及び首席指揮者を務めた。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、リンツ・ブルックナー管、モスクワ放送チャイコフスキー響などに客演している。チェコ・フィルには定期的に客演している。また、スーク、オイストラフ、リッチャレリ、パターら名演奏家との共演を重ねている。プラハの春、プラハの秋、バイロイトなど著名音楽祭への参加も多い。現在スロヴァキア・フィル常任客演指揮者、ブルノ・フィルハーモニー協会名誉会員、プラハ芸術アカデミー准教授を務めている。スロヴァキア・フィル、ブルノ・フィル、プラハ国立歌劇場、ザルツブルク・モーツァルテウム管などの日本公演をいずれも成功に導く一方、国内オーケストラの客演の機会も多く、日本での評価を着実に高めている。中でも2010年7月の都響創立45周年記念特別公演「売られた花嫁」はサントリーホールを大喝采の渦に巻き込んだ。2014年4月、セントラル愛知響音楽監督に就任。2015年7月、スロヴァキア・フィルとの合同演奏によるマラー「巨人」の成功は記憶に新しい。また2016年9月の当団定期第150回記念公演ではスロヴァキア国立歌劇場のソリストたちを招きドヴォルザークの「スターバト・マーテル」を演奏。聴衆の熱烈な反応をよんだ。



ピアノ 岡田将

Masaru Okada

福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部で第一位受賞。92年第61回日本音楽コンクール第一位、併せて野村賞、E・ナカミチ賞を受賞。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年ベルリン国立芸術大学に留学し研鑽を積んだ。97年アルトゥール・シュナーベルコンクール第一位とスタインウェイ賞を受賞。99年にはオランダの第5回リスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝し、ドイツ国内を中心にヨーロッパ主要都市やNYでリサイタルを開催、ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演し大きな成功を収めた。日本では、新日鉄コンサート、日本ショパン協会例会、故園田高弘氏の推薦によるトッパンホールの「旬のピアニストシリーズ」に出演。圧倒的なスケール感と緻密な構成力が高い評価を得、大きな反響を呼んだ。04年、オール・リストによるデビューCDもリリース。02年第12回出光賞受賞。03年第29回日本ショパン協会賞受賞。2007年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学で後進の指導にあたっている。2011年にはリスト生誕200年を記念し、東京と神戸でオール・リスト3回シリーズを開催。NHK-FMで放送されるなど、大好評を博した。2013年春にはバッハ：マルティータ全6曲を一晩で演奏し、音楽界の大きな話題となった。2014年から、2年間にわたるベートーヴェン：ピアノソナタ全32曲シリーズ(全8回)を開催。
<http://masaru-okada.jimdo.com/>

第164回定期演奏会 ～劇的緊迫感の高揚～



指揮 ディエゴ・マルティン・エチェバリア

Diego Martin-Etxebarria

スペイン出身。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)第1位。この受賞を契機として、読響、名フィル、大フィル、関西フィルと共演。これまでに、アート・アンサンブル・バルセロナの芸術監督('04～'07)、フライブルク大学管弦楽団の首席指揮者('10～'12)、エウスカディコ・ユース管弦楽団の首席指揮者('07～'08)などを務めた。現在、クレフェルト歌劇場とメンヒングラートバッハ歌劇場の常任指揮者兼副総音楽監督。コンサート、オペラの両ジャンルで幅広いレパートリーと豊かな経験を持っている。ベルリン国立歌劇場、アウグスブルク劇場、ベルリン・フォルクスビューネ、アリアーガ劇場、マドリードのテアトロ・レアルなどで、ドニゼッティ「ドン・パスクワレ」「愛の妙薬」、モーツァルト「魔笛」、プッチーニ「ラ・ボエーム」などを指揮。また、ビルバオ響、エウスカディ響、ガリシア響、テネリフェ響、グラナダ市響、マラガ・フィル、バレス響などで客演している。録音には、ホアキン・セッラ作曲のオペラ「Tempesta esvaïda」(Fictaレーベル)、エンリク・モレラ作曲のオペラ「La viola d'or」(Discmediレーベル)などがある。後者は、2016年の「Enderrock」誌のベスト・クラシカル・アルバムに選ばれた。'18年、大阪交響楽団に客演。好評を博した。



©Doko Nakamura



©saya nishida

11月定期演奏会のご案内

8/9(木)発売

第165回定期演奏会 ～現代曲の神髄に挑む～

電気文化会館ザ・コンサートホール

2018年11月16日(金) 18:45開演

指揮/齊藤一郎(当団首席客演指揮者) ソプラノ/柳原由香
エレクトロニクス/有馬純寿

ハイドン：交響曲第22番変ホ長調「哲学者」Hob.I:22

山本和智：女声、室内オーケストラとライブ・エレクトロニクスのための「韻律の塔」

ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調Op.92

(名古屋初演)